

## 提言（案）作成に向けた項目の検討について

＜起こりうる課題・問題と再発防止策で記述＞

## 所掌事務（1）いじめの防止等のための対策

1. 「いじめ」という言葉を使うことでその範囲がせまく捉えられる危険性への留意
2. 「いじめ」の定義や問題の難しさについて学習する機会の質的充実
3. 児童生徒が本音を出せる空間・環境・条件充実のための学校文化・慣習・ルールの問い直し
4. 権利侵害に対して児童生徒自身が声をあげることのできる力を育む機会の充実
5. 児童生徒が自分たちでいじめを防止する取り組みの充実

## 所掌事務（2）重大事態の発生防止策及び重大事態が発生した後の学校等の対応

1. 児童生徒の情報を共有できる日常的な教職員間のコミュニケーションの充実と組織体制構築
2. 保護者との日常的なコミュニケーションの充実と児童生徒の情報共有
3. 児童生徒の状況把握・判断に関する事例研究等による研修の実施
4. 基本調査と詳細調査の関係整理
5. 重大事態発生時に求められる具体的な対応内容の整理・可視化と情報・認識の共有
6. 重大事態発生時に求められる情報共有方法の明確化と体制構築
7. 管理職に求められる対応内容の明確化
8. 重大事態発生後に求められる保護者との関係構築
9. 事例・情報の引き継ぎ体制の確立
10. 上記 4～9 についての理解を深める研修の充実

所掌事務（3）いじめ調査委員会の調査体制や調査方法等の検証を踏まえた調査のあり方

1. 調査目的を共通理解する重要性
2. ガイドラインに基づいた設置と実施過程におけるガイドラインの確認
3. 委員の構成と委員選定時の保護者との関係構築
4. 調査目的・過程・方法・結果の被害児童生徒・保護者への説明と調整の徹底
5. 保護者の確認のもとで進める調査方針の重視
6. 関係者それぞれが抱く感情・心理的負担に配慮した調査実施